

信用保証委託契約変更契約書（委託者の相続）

年 月 日

広島県信用保証協会 御中

(相続人、連帯保証人欄は必ず本人が自署のうえ、実印を押印願います。なお、被相続人欄は、相続人にて記入願います。)

(旧委託者) 被相続人(甲)	住所		
	氏名(フリガナ).....	
(新委託者) 相続人(乙)	住所		
	氏名(フリガナ)..... ⑩	
連帯保証人	住所		
	氏名(フリガナ)..... ⑩	
連帯保証人	住所		
	氏名(フリガナ)..... ⑩	

第1条 乙は、貴協会と甲との間の _____ 年 月 日 付信用保証委託契約（以下「原契約」という。）の各条項を承認のうえ、委託者として原契約上の甲の地位を承継することを確約します。

第2条 連帯保証人は、前条を異議なく承認のうえ、本契約および原契約から生じる一切の債務につき乙と連帯して履行の責を負います。

第3条 委託者または保証人は、現在、暴力団、暴力団員、暴力団員でなくなった時から5年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋等、社会運動等標ぼうゴロまたは特殊知能暴力集団等、その他これらに準ずる者（以下これらを「暴力団員等」という。）に該当しないこと、および次の各号のいずれにも該当しないことを表明し、かつ将来にわたっても該当しないことを確約いたします。

- (1) 暴力団員等が経営を支配していると認められる関係を有すること。
- (2) 暴力団員等が経営に実質的に関与していると認められる関係を有すること。
- (3) 自己、自社もしくは第三者の不正の利益を図る目的または第三者に損害を加える目的をもってするなど、不当に暴力団員等を利用していると認められる関係を有すること。
- (4) 暴力団員等に対して資金等を提供し、または便宜を供与するなどの関与をしていると認められる関係を有すること。
- (5) 役員または経営に実質的に関与している者が暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有すること。

2. 委託者または保証人は、自らまたは第三者を利用して次の各号の一つにでも該当する行為を行わないことを確約いたします。

- (1) 暴力的な要求行為
- (2) 法的な責任を超えた不当な要求行為
- (3) 取引に関して、脅迫的な言動をし、または暴力を用いる行為
- (4) 風説を流布し、偽計を用いまたは威力を用いて貴協会の信用を毀損し、または貴協会の業務を妨害する行為
- (5) その他前各号に準ずる行為

3. 委託者または保証人が、暴力団員等もしくは第1項各号のいずれかに該当し、もしくは前項各号のいずれかに該当する行為をし、または第1項の規定にもとづく表明・確約に関して虚偽の申告をしたことが判明したときは、貴協会は代位弁済前に委託者および保証人に対し求償権を行使することができるものとします。

第4条 この契約に別段の定めあるもののほかは、すべて原契約の各条項が適用されるものとします。

【信用保証委託契約書第1条の借入要項による借入金債務の明細】

金 融 機 関 名	(支 店)
借 入 (割 引) 年 月 日	年 月 日
借 入 (割 引) 金 額	金 円 (根保証の場合は極度額)
現 在 残 高	金 円 (根保証の場合は極度額)

◆ (協会使用欄) ◆

顧客番号	
------	--

保証番号	
------	--

検 印	係